



稲敷市



Salmon Arm
サーモンアーム市 (カナダ)

姉妹都市

— 世界をつなぐ笑顔と勇気 —

No.20
2014. 12



サーモンアーム市 友情の門にて

掲載内容

稲敷市親善大使海外派遣事業に参加して
サーモンアーム親善訪問団受入れ事業に参加して
第4回、第5回稲敷市姉妹都市交流委員会懇談会
海外派遣・受入れのお知らせ

○姉妹都市交流事業（海外派遣・受入れ）の詳細は稲敷市 HP <http://www.city.inashiki.lg.jp/>
（市政→プロフィール→姉妹都市・国際交流事業）

○稲敷市姉妹都市交流委員会 会員募集！問い合わせは企画課内事務局へ：029-892-2000

●稲敷市・稲敷市姉妹都市交流委員会●



今後も末永い
友好親善を
稲敷市長
田口久克

今回は青少年親善
大使に合わせて、私
もサーモンアーム市
を訪問させていただ
きました。

友情の門にて記念植樹

サーモンアーム市は雄大な自然と景色に囲まれた素晴らしい地域で、このようなサーモンアーム市と姉妹都市提携を結んでいる稲敷市のことを改めて誇りに思うことができました。また、派遣団の皆さんが、カナダの方々の前で堂々と自己紹介のスピーチをしている姿を見て大変頼もしく感じました。今後も、サーモンアーム市と稲敷市の素晴らしい友好親善が末永く続くよう、努力してまいります。

さらに絆を深める

ー派遣事業に参加してー 派遣 (H 26.8.16 ~ 8.26)

第8回 稲敷市親善大使海外派遣団名簿

団長	石井 道朗 (姉妹都市交流委員会会長)	
指導員	小松澤 充 (あずま西小教諭)	紺野 芳子 (あずま南小教諭)
団員	遠藤千祥子 (高2)	菅野 智愛 (高2)
	小貫 雅敏 (高1)	金澤 達希 (中2)
	正能雅玖斗 (中1)	鈴木 夏穂 (中1)
	小泉 真咲 (中1)	中平 優斗 (中1)
	宮本 夢華 (中3)	佐藤 果咲 (中2)
	坂本 和弥 (中2)	飯塚 比翼 (中2)
		幸田 真帆 (高1)
		清原 秀昭 (中1)
		塚本 夏海 (中1)
		坂井 泉 (中3)
		高柳 勇輝 (中2)
		板橋 希 (中2)



緊張の対面式



市議会議場にて



湖でのキャンプ



ラフティング!



手作りカードで自己紹介



さよならパーティーでダンス

幸田 真帆

私は、今回この派遣事業に参加して、実に多い11日間を過ごすことができ本当に良かったと思っています。文化や価値観の違いをホストファミリーと日常を共にすることで、大いに見聞を広めることができました。日本から来た私を、家族の一員としてあたたかく迎え入れてくれたホストファミリーに、心から感謝しています。これからは、今回のカナダでの素晴らしい体験を糧に、様々なことに励んでいきたいです。

派遣時の主なスケジュール

- ・歓迎式
- ・「友情の門」見学
- ・アートアクティビティ
- ・ハウスボート
- ・湖畔でBBQ
- ・ラフティング
- ・山道散策
- ・さよならパーティー
- ・パンフ観光
- ・コロンビア大氷原観光

飯塚 比翼

『帰りたくない! まだいたい!』と思うほど、カナダでの11日間は、とても楽しい日々でした。会話が少し心配でしたが一緒にバスケットをすることで、すぐにディランと仲良くなれました。言葉は通じなくても気持ちはわかり合えます。優しいホストファミリーのおかげで、貴重な体験と楽しい思い出がたくさん出来ました。少し不安に思っている人でも、思い切って参加してみたいと思います。

日本の知恵を学ぶ

ー受入れ事業に参加してー

受入れ (H 26.3.23 ~ 3.30)

第8回 受入ホストファミリー名簿

田中 陽菜 (大1)	内藤 紗花 (高1)	木内 詩織 (中2)
貝瀬 愛美 (中2)	萩原 優奈 (中2)	根本 祐輔 (大2)
石井 実玖 (中2)	山本ゆり恵 (中等教育学校5)	
小嶋 直樹 (高1)	清原佑梨乃 (中2)	篠田 愛華 (中2)
木内 和希 (大3)	小柳津瑠渚 (中1)	清水 穂香 (中1)
※学年は受入れ当時		
石井 道朗 (一般)	矢崎 克実 (一般)	



飾り巻き寿司体験



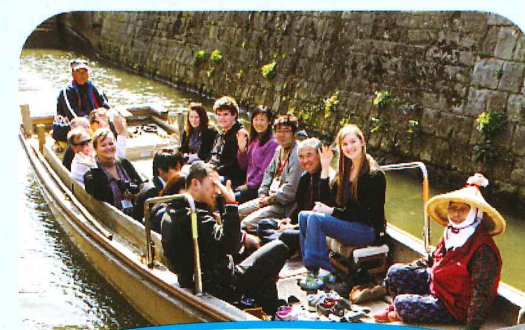
稲敷かあちゃん食堂



さよならパーティー



桜川中学校で交流会



佐原小野川のサップ舟

木内 和希

「Nice to meet you」笑顔でお互い握手をし、今回で3度目となる国際交流が始まりました。言葉の壁や文化の違いはあっても、積極的に笑顔で話せば何とかなるものだと毎回感じます。市や中学校、姉妹都市交流委員会の方々の協力で、国際交流ができることに感謝し、今度は自分たちの経験を生かし、企画の段階から姉妹都市交流のお手伝いもしてみたいと思いました。

受入れ時の主なスケジュール

- ・対面式
- ・飾り巻き寿司体験
- ・稲敷かあちゃん食堂
- ・佐原街並み散策
- ・中学校交流会 (桜川中学校)
- ・東京一泊研修 (東京ディズニーランド、東京スカイツリー、浅草)
- ・さよならパーティー (着物着付け体験等)

田中 陽菜

中学2年生の時に派遣事業に参加したことがきっかけで、今回は3回目の受入れでしたので、気持ちにも余裕があり、有意義な時間を過ごすことができました。私は大学で国際観光について学んでいますが、これからの時代は、国や地域、言葉や文化などすべての壁を超えコミュニケーションを実現する力が大切だと思います。英語が苦手と思っている方も交流事業に参加し、貴重な経験をして下さい。

今後も継続して

姉妹都市交流委員会

会長 石井 道朗



「日本の知恵を学ぶ」をテーマとして、3月にサーモンアーム市からの使節団17名を受け入れました。この事業に対し、ホストファミリーをはじめ、各関係機関の方々のご協力を得て、心温まるおもてなしができました。サーモンアーム市からの使節団員も、飾り巻き寿司体験や清涼市の方々による稲敷の食材を使った昼食会、桜川中学校での書道・剣道を体験することができました。また、さよならパーティーでは、稲敷から音頭等で稲敷の良さをアピールすることができました。ご協力に感謝申し上げます。

8月には、ハードな公務の中、田口久克市長がサーモンアーム市を訪問されることになり、親善大使海外派遣団員21名も同行することができました。記念すべき交流になりました。さらに、この交流では、両市の現状や今後のあり方等についての意見交換がなされ、その結果、今後も末永く継続していくということが確認でき、大変有意義な事業となりました。詳しい内容については、市の広報紙や本紙をご覧ください。

団員21名は、雄大な自然の中での体験やホストファミリーの心温まるおもてなし等から、カナダ人の心の寛容さや家族の大切さを学び、無事帰国できました。

もし機会がありましたなら、是非この交流に参加してみたいかがでしょうか。

親善大使海外派遣事業及び親善使節団受入事業について変更のお知らせ

昨今の人口問題や経済状況等、両市を取り巻く状況の変化により、かねてより派遣事業及び受入事業について、サーモンアーム市側と協議を進めてまいりました。今後も末永く友好的に交流を継続していくにあたり、派遣事業及び受入事業を隔年で実施することといたしました。当面の実施予定は、右図のとおりとなります。

	派遣	受入
26年度	H26.8 派遣実施	(受入なし)
27年度	H27.8 派遣予定	H28.3 受入予定
28年度	(派遣なし)	(受入なし)
29年度	H29.8 派遣予定	H30.3 受入予定

H 27年度の青少年親善大使海外派遣について

平成27年度の青少年親善大使として、カナダ・サーモンアーム市へ稲敷市在住の中学生・高校生を派遣します。1週間のホームステイを通じ、海外での家庭生活や大自然の迫力を体験します。募集は平成27年5月頃を予定しています。詳しくは稲敷市役所企画課へお問い合わせください。

交流委員会広報委員

山本 彰治 (委員長)、塚本 みち子 (委員)、倉田 九豪 (委員)

第4回姉妹都市交流委員会懇談会



4月22日、3月末に行われた第8回サーモンアーム市親善使節団受入れホストファミリーと交流委員会会員による懇談会が開かれました。

ホストファミリーからは、「カナダと日本の文化の共通点を知ることができて良かった。」「昨年夏の派遣時よりコミュニケーションがとれた。」「もっと英語を勉強して、積極的に接したい。」「大学生のため派遣には参加できないが、勉強になるので受け入れしている。」「タブレットの翻訳ではなく、やはり英語を学んだほうがよい。」「一般の方との交流時間を長くtookの方がよい。」といった感想がありました。

第5回姉妹都市交流委員会懇談会



10月4日、平成26年度稲敷市親善大使海外派遣団報告会並びに解団式が行われました。その終了後、派遣団員と交流委員会会員による懇談会が開かれました。

派遣団員からは、派遣事業を体験して、「英語がわからなくて不安だったが、買い物で自分のほしいものが伝えられた時は嬉しかった。」「ホストファミリーがフレンドリーで楽しかった。」「もっとカナダの民俗文化などに触れたかった。」などといった感想がありました。また、「英語がわからなくて苦労したので、もっと勉強したい。」「もう一度行きたい。」などといった、目標も聞かれました。

INFORMATION

会員募集！あなたも国際交流しませんか？

・姉妹都市交流委員会

親善大使派遣事業、親善訪問団受入れ事業など稲敷市の実施する姉妹都市（サーモンアーム市）との幅広い活動に協力し、民間交流活動を展開しています。



問い合わせ・申込みは
企画課内事務局：
029-892-2000 まで

○姉妹都市交流事業の詳細は
稲敷市ホームページをご覧ください

稲敷市 姉妹都市交流

検索

編集後記

交流20年を過ぎての、決断。隔年となり、少し寂しくなるのは実感ですが、その交流の中身をじっくり考え、より良いものにしていこうとの思いは不変だと思います。海を越えての交流が20年続いていることの素晴らしさ。このあと、20年続いていくための決断ともいえるでしょう。親交が減るのではなく、「濃くなる」ということです。

編集：姉妹都市交流委員会広報委員
稲敷市役所企画課